

令和元年 12 月 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会

開催日時：令和元年 12 月 16 日（月） 午前 15 時 30 分～17 時 30 分

開催場所：岡崎市役所東庁舎 2 階大会議室

出席委員：15 名

瀬口哲夫委員・加藤安信委員・島津達雄委員・野本欽也委員・三浦正幸委員・
神尾典彦委員・河内利弘委員・河原一夫委員・早川久右衛門委員・深田賢之委
員、洲崎和宏委員（代理）河内佳子委員、植山論委員、粕井泰晴委員、
小野鋼二委員

オブザーバー：文化庁地域文化創生本部 岡本公秀様

説明のために出席した事務局職員：6 名

社会教育課：中村耕課長・柴田英代副課長・菅沼貴之岡崎城跡係長・岡山
幸男文化財係長・武田穂波文化財係主事、小林巧文化財係主事

傍 聴 者：なし

議事内容

1 議題

- （１） 会長及び副会長の選出について
- （２） 岡崎市文化財保存活用地域計画について

議題及び議事の要旨

1 協議事項

- （１）会長及び副会長の選出について
 - ・会長 瀬口哲夫委員
 - ・会長職務代理者 加藤安信委員
- （２）岡崎市文化財保存活用地域計画について

【社会教育課説明】

文化財保護法が改正され、文化財の保存・活用のための目標や中長期的に取り組む内容を記載したアクション・プランとして「文化財保存活用地域計画」の策定が謳い込まれた。本市においても重点施策との緊密な連携による、文化財を通した都市魅力の向上及び、次の世代へ繋ぎ、育む各種施策の展開を図ってゆくため、文化財保存活用地域計画の策定を進めるものである。なお、今年度は計画策定に向けた市民及び学区総代会長へのアンケート、所有者等へのヒアリングを予定している。

【質疑応答】

委員：学区総代会長向け調査票問 2 に文化財や歴史的な資産の選択肢を設けているが、資料 1 - 1 にある 11 種類との関連性が見られない。岡崎市の特徴を踏まえた内容としているためか。

事務局：調査票は、回答者がわかりやすい項目立てにしている。また、項目にない文化財については、「その他」で自由に回答していただきたいと考えている。

委員：歴史的建造物調査での二次調査対象案件約 1,800 件について、一次調査対象案件約 15,000 件を全て調査した中から抽出したもののか。

委員：そうである。歴史的建造物調査の一次調査では、50 年以上経過している建造物を対象とし、それぞれ 50 年以上と 70 年以上で分類し調査を実施した。また、調査は基本的に目視の外観調査であり、市職員、建築士事務所協会及び建築士会のメンバーとともに実施した。

委員：りぶら北にある大林寺付近に古い立派な民家がある。それを取り壊す話を聞いたことがあり、大変もったいないと感じている。一方で、修繕には費用を要する。このような場合、どうすればよいか。

事務局：地域計画策定の目的のひとつは、滅失の危機にある未指定文化財について総合的な把握と調査を実施し、保存と活用につなげることにある。委員の皆様からのご意見を踏まえ、計画の内容を検討していきたい。

委員：岡崎城の西方に双竜という名称のダンスホールがあったが、結局は取り壊された。また、伝馬にある料理屋も取り壊された。保存を検討している間にどんどん取り壊されてしまっている。

委員：岡崎市は歴史的な資産を数多く擁する市であるため、これら歴史的資産を有効活用していただきたい。併せて、地域住民の心の拠り所となるような取組を期待している。

委員：アンケート調査について、今後の計画に係る基礎資料となるため、正確な回答ができる設問設定が望まれる。例えば、市民向け調査票の 1 頁目下段に文章が記載されているが、これに「市内の」という文言を追加しては。また、以前実施した遺跡発掘調査の際、開発の邪魔になるとの意見を受けたが、そのような率直な意見をきちんと拾える設問を設けることは良いと感じた。その他、見たことがある文化財についての設問に旧額田郡公会堂や市域南部にある真宮遺跡等も追加すると良い。加えて、5 頁目の「地域活動の参加」は、文化財に係る活動である旨を明記してはいかがか。総代会長向け調査票は、問 5・6 で「望む支援」とあるが、これは行政に望む支援ということで良いか。

事務局：ご指摘いただいた内容について、再検討したい。

委員：市民向け調査票問 5 について、額田地域に関する文化財の数が少ないように感じた。また、重要な設問と思われる問 10 や問 11 は自由記述のままだと回答しづらいので、選択肢形式にするなど回答しやすい形式に変更したらよい。

事務局：選択肢の指摘及び設問構成について、修正を検討する。

委員：本アンケートから何を得心したいかを明確にした方が良い。例えば、問 4 は岡崎の歴史文化と聞いて思い浮かぶものについての設問だが、地域の方々にとって日常生活に浸透している身近なものに関する情報を得ることが重要と考える。そのため、「岡崎市の歴史文化」といった表現は、やや大上段に構えているように感じる。地元の方々が普段行っていること自体が重要な情報になり得るので、そのような回答を引き出せる設問にした方が望ましいのではないか。また、岡崎三大祭りに触れていないなど、選択肢内容の精査も必要だ。

最後にヒアリングシートについて、対面ヒアリングの実施ということであれば、まずは岡崎市の現状を把握することが先決である。

委員：アンケートの対象について、本調査が対象者の生活に直接関係する内容であれば特に問題はないものの、歴史文化に関する調査であるため、もともと関心が低い人を対象にしたところで十分に意見を拾うことが難しいのではないか。一般的にアンケート調査は無作為抽出が基本であるが、それとは別にアンケートに答えた

い人を市の広報等で集め、別集計で結果をまとめた方が良いのではないかと。また、歴史的建造物等調査では社寺等が含まれていないため、文化財候補の未指定文化財を取りこぼすことに繋がりにくいと思われる。岡崎市では、以前社寺建築の調査を実施したことがあると記憶しているため、それらの結果も併せて検討していただきたい。

事務局：アンケート調査については、ただ今のご意見のような形で実施可能かどうかも含めて検討したい。また、社寺建築を対象に含める件については、歴史的風致維持向上計画において社寺建築の調査を今後実施していく予定である。

委員：文化財を適切に保存することで観光資源になることは十分理解しているが、経済活動に繋がる取組も地域の活性化に必要である。そのような観点からヒアリングシートを見ると、文化財の活用に対する支援とあるが、まずは所有者の理解が進まない限りは活用に結びつかない。よって、支援の前に文化財を活用することに対する意向が聞ければ良い。

事務局：今回の調査では、多様な立場から意見を集める趣旨がある。ただ今のご意見も参考にさせていただき、項目を検討する。

委員：市民向けアンケート調査と学区総代会長向けのアンケート調査について、冒頭には同様の内容が記載されてあるが、それぞれ性格が異なる調査を実施するので、同一の内容でなくても良いのではないかと。また、学区総代会長向け調査の歴史文化資産に関する設問は、市の支援協力まで含んでいるのか、もしくはどのような歴史文化資産があるかを教えて欲しいだけなのかを明確にした方が良い。

事務局：学区総代会長向けのアンケート調査の意図は、地域で保存・活用している歴史文化資産の掘り起こしである。それをリスト化して緊急度や優先度が高い支援を地域計画内で検討したいと考えている。

委員：例えば、大樹寺小学校は過去に国土交通省から都市景観大賞を受賞した経歴を持っているが、そのような学校の活動への支援も踏まえたいと思われる。

委員：最近国の登録文化財となった富田家住宅木南舎と土蔵を選択肢に入れても良いと思われる。また、地元が真剣に取り組むことに対して寄付金やクラウドファンディングを活用する旨の内容が計画に盛り込めたら良い。

委員：学区総代会長向けアンケート調査の問2について、選択肢に庭園等の名勝地がないのは、地域が主体となって保存活用している事例が少ないことによるものなのか。

事務局：本設問は文化財の類型にこだわらず設定したが、今のご意見を踏まえ、選択肢への追加を検討したい。

2 その他

(1) 次回以降の審議会開催について

次回協議会は令和2年3月に実施予定